

平成 31 年度 公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校 新政治・経済 新訂版（清水書院）						
副教材等	適宜、資料を担当者で用意						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・日頃から新聞記事やニュースなどに関心を持ち、現代の政治、経済、国際関係の動向などについて主体的に考察する態度を身につけましょう。
- ・主権者、社会の形成者として、現代の問題・課題をどう解決していくかを考察し、行動しましょう。

2 学習の到達目標

広い視野に立って民主主義の本質に関する理解を深めさせ、身近な出来事から現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、主権者として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なより良い社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、人間としての在り方、生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見出し、社会的、事象の本質や人間の存在や価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化やさまざまな考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方、生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1編 現代の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本原則 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の平和主義と安全保障 ・日本の政治機構 ・現代日本の政治 ・国際政治と日本 	○	○		○	a: 政治について関心を持ち、自分にかかわることという態度を持っている。 b: 現代政治の課題について考察、判断し、その結果を表現している。 c: 日本国憲法についての資料などを読みこなしている。 d: 主権者としてのあり方への知識を身につけ、理解している。	定期考査、ワークシート、レポート
2学期	第2編 現代の経済	<ul style="list-style-type: none"> ・現代経済の特質 ・現代日本の経済 ・国際経済と日本 	○	○	○	○	a: 経済について関心を持ち、自分にかかわることという態度を持っている。 b: 経済をめぐるさまざまな課題を理解し説明できる。 c: 経済のしくみに関する図表などを読み取れる。 d: 経済の動きについて基本的知識があり、理解している。	定期考査、ワークシート、レポート
3学期	第3編 現代政治・経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の諸課題 ・国際社会の諸課題 	○	○	○	○	a: 現代社会のさまざまな課題について関心があり、自己と結び付けて追究しようとする意欲がある。 b: 現代政治・経済のさまざまな課題の改善策について考察・判断し説明できる。 c: 現代政治・経済のさまざまな課題について自ら調べ、資料を活用できる。 d: 現代社会の諸課題を自己との関わりで理解し、主権者としての自分の今後の生きる姿を描けている。	定期考査、ワークシート、レポート

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
 c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。